

ロシアによるウクライナ侵略を非難する共同声明

去る2月24日、ロシアは国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの侵略を開始した。

ロシアの行動は、ウクライナ国民の命を奪う卑劣な蛮行であると共に、国際社会の平和と秩序、安全を脅かし、国連憲章の重大な違反であり、特に核による威嚇を繰り返していることは、断じて容認できない。

昭和59年に『非核平和都市宣言』を行い、平成21年には『平和市長会議（現在の「平和首長会議」）』に加盟している八街市及び八街市議会として、この行動に対し抗議と非難の意を強く表明する。

また、政府においては、現地在留邦人の安全確保に努めると共に、国際社会と緊密に連携し、毅然たる態度でロシアに対して即時無条件での撤退、ウクライナに対する人道的支援と速やかな平和の実現に向け、全力を挙げていただきたい。

令和4年3月9日

八 街 市
八街市議会